

◆中学入試算数 速報・講評【駒場東邦】

駒場東邦は、近年御三家に勝るとも劣らない人材を送り出していることで知られています。昨年に続き、今年も大問のほとんどが思考力を問う問題でした。

同校は近年、他校とは違う少し変わった挑戦をしています。

昨年場合は、

「今まで算数を学んできた中で、実生活において算数の考え方が活かされて感動したり、面白いと感じた出来事について簡潔に説明しなさい」

という出題がその象徴的なものでした。

今年の場合は、大問2の「糸が棒のまわりを回転する様子を作図させる」といった出題がユニークでした。

大問4のビンゴの問題も興味深かったです。

ビンゴを題材にした問題としては、H22年の栄光学園が有名ですし、東京大学工学系研究科システム学専攻の院試でも、似たような問題が出題されたことがあります。

大問3も非常に思考力が要求される問題です。

ある数のべき乗に対して下数桁を考える問題は、今年麻布でも出題されました。どちらも周期性に注目する必要がありますが、ディテールがそれぞれ異なります。本問の(4)や、大問4を正解できる子は、駒東だけでなくほとんどの学校が喉から手がでるほど欲しい生徒でしょう。